

# JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2017年4月26日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の問合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究はJCHO群馬中央病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

①研究計画名	単孔式経膈腹腔鏡補助下虫垂切除術の有用性についての検討		
②研究責任者	氏名	深澤 孝晴	所属 JCHO 群馬中央病院 外科
③研究の目的・意義	<p>目的：虫垂切除術において、臍から虫垂根部処理を行う経膈腹腔鏡補助下虫垂切除術と、腹腔内で虫垂根部の処理を行う従来の腹腔鏡下虫垂切除術を比較し、経膈腹腔鏡補助下虫垂切除術の安全性、有用性を明らかにすること。</p> <p>意義：虫垂炎に対して行われる虫垂切除術において、低侵襲を目指した腹腔鏡手術が普及しているが経膈腹腔鏡手術の有用性が示されれば、さらに低侵襲かつ安全、確実な手術が可能となる。</p>		
④研究期間	倫理審査承認後～2018年3月31日		
⑤対象となる患者さま	2010年1月1日～2017年3月31日の期間に虫垂切除を受けた患者様		
⑥利用する試料・情報	<p>電子カルテより以下の情報を利用します。</p> <p>【手術時年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、身長、体重、血圧、脈拍、体温、ECOG PS (ECOG (米国の腫瘍学の団体) が定めた Performance Status)、個人識別符号、腹部造影CT所見、血液学的検査 (白血球数)、血液生化学検査 (CRP)、病理学的検査 (切除標本)】</p>		
⑦利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。		
⑧情報の管理	<p>使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。</p> <p>また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。</p>		
⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	深澤 孝晴	所属 外科
	TEL	027-221-8165 (代表)	

(2017.3)

